

平成23年度 学校自己評価表〔全日制〕

香川県立坂出工業高等学校

◆学校運営方針

学 校 運 営 方 針	評 価
本校は、「実践をとおして、実社会に直接活かせる知識・技能を身につける専門高校」であるとの共通理解のもと、教職員が組織となって指導力を発揮して、生徒に「工業に関する知識と技能の定着と、それを活用する実践力」「社会人に求められる教養・資質」「強靱な心身」を育む指導を進め、本校のよき伝統の継承と深化を図っていく。	

◆年度重点目標および具体的目標

23年度重点目標	具 体 的 目 標
1 確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の学ぶ意欲を高め学習習慣の定着を図るとともに、工業に関する専門的な知識・技術を含め、基礎・基本の定着を図るため、指導方法の工夫や授業評価の改善を進める。 ・実習等の授業や特別活動等において、ものづくり体験をさらに充実させるとともに、各種競技大会やものづくりコンテストに積極的に参加することなど、実体験をとおして、工業のより高い実践力の育成に努める。 ・計画的な資格取得指導を徹底する。また、学習の理解度を確認するための各種テストを実施し、家庭学習の習慣付けなどの自己啓発を促すとともに、個に応じたきめ細かい指導の実践に努める。
2 キャリア教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・就職内定率100%を維持するとともに、インターンシップや職場見学会などを活用して、望ましい職業観・勤労観を育成する。 ・将来社会人として「社会的・職業的」に自立できる能力や態度を育てるためのキャリア教育を実践し、将来を見据えた進路選択が早期にできるよう指導する。 ・進学希望者の自己実現のため、習熟度別学習の充実に努めるとともに、基礎学力の定着から国立大学への進学に対応できる高度な応用力の育成まで、学力の向上を図る。
3 豊かでたくましい心をはぐくむ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の様々な場面を通じて規範意識・人権意識の高揚を図るとともに、礼儀を重んじ、社会性を育む。 ・生徒が抱える問題を早期に発見し、家庭との連携を密にし、関係機関の協力を得ながら支援を行う。 ・活発な部活動を通して、協調性・社会性を育むとともに、強健な心身と自主自立の精神を涵養する。
4 信頼され魅力ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ・携帯閲覧サイト・坂工だより等を有効に活用して、学校の情報を浸透させるように、より迅速に広範囲に提供する。 ・ものづくりの技術や部活動単位の地域との交流活動を活かして、地域に貢献することを目的とし、坂工ものづくり教室などのイベントを企画したり、地域の行事により多く参加させたりする。 ・学校内外での事故防止や事故対応マニュアルを確認し、常に教職員が適切・迅速に対応できるようにする。 ・情報セキュリティー実施手順、個人情報管理票により個人情報の漏洩防止対策を徹底する。

◆評価段階

A	達成できた
B	ほぼ達成できた
C	あまり達成できなかった
D	達成できなかった